



緑の少年団

三地区交流会

教育長 津野庄一郎



「関川村大石オートキャンプ村」で先月 27 日に、緑の少年団三地区（朝日・山北・関川村）交流会の植樹が行われました。この活動は毎年輪番で、子どもたちが県北の自然に親しみ、森や樹木を守るために行っているもので、今年は関川村が担当し、総勢 57 人が参加しました。

ふもと
大石オートキャンプ村は、飯豊連峰の麓で、美しい緑や野鳥のさえずり、澄みきった空気と豊かな自然を満喫できるフィールドとして 2001 年に整備され、アウトドアを楽しむ人の人気スポットです。管理人の平田さんから、旧ワサビ田やワラビ園、水芭蕉群生地、野鳥観察舎やおしどり池の場所等を教えてもらい、「鷹ノ巣キャンプ場」とは違う魅力的な所だと感じました。

子ども達は、班毎に分かれて多目的広場や道路わきに、ヤマザクラやオオモミジ、クヌギやケヤキの苗木を指導員のサポートで、一本一本丁寧に植えました。

植樹後は、「農村文化交流センターの～む」で、村食生活改善推進員の方々が用意してくれた豚汁をいただき、その後「巣箱づくり」をしたり、「木材を使った住宅建築」に関するお話を聞いたりしました。<(株)ハウジングワーク本田の海野様>森の恵みと関係者のお力添えに感謝いたします。

<【写真】上：開会式の様子 中：巣箱づくりに取り組む

子どもたち 下：お世話になった食推の方々>

